

土地改良広報



Contents

トピックス

- 第51回通常総会並びに
平成21年度土地改良功労者表彰…………… 2～5
- 平成22年度本会予算…………… 6～7
- 平成21年度第3回・第4回理事会、第3回監事会を開催…………… 8～9
- 平成21年度第1回役員会を開催…………… 9
- 平成21年度役員研修会を開催…………… 9
- ISO9001：2008更新される…………… 10
- みやぎの農業用水を考えるシンポジウム…………… 10～11
- みやぎの農村環境保全シンポジウム
みんなで考えよう！美しい農村づくり
～農地・水・環境保全の取組～…………… 11～12
- 全土連通常総会…………… 12～13
- 全国土地改良功労者表彰並びに
農業農村整備コンクール優良地区表彰…………… 13
- 鳴瀬川中流地域土地改良区
合併予備契約調印式が開催される…………… 14～15
- 平成21年度農用地等集団化事業表彰式…………… 15
- 第11回農業集落排水施設管理技術研修会を開催…………… 16
- 平成21年度みやぎの中山間地写真コンクール審査発表…………… 17～18
- 平成21年度農業農村整備技術強化対策事業一般研修を開催…………… 19

土地改良区めぐり

- ・ 迫川上流土地改良区…………… 20～21

事業（制度）紹介

- ・ 農業基盤整備資金（非補助）の融資制度について…………… 22～23

農地・水・環境保全向上対策事業

- ・ 南大畑環境保全会…………… 24

お知らせ

- ・ 全国土地改良大会の事務局が発足…………… 25
- ・ 連合会日誌…………… 26
- ・ 今後の行事予定…………… 27
- ・ 本会会員代表者の就退任関係…………… 27
- ・ 人事異動（局・県・土地連）…………… 28～33



第51回通常総会並びに 平成21年度土地改良功労者表彰式を開催



第51回通常総会

本会では去る、3月25日（木）午後1時30分より宮城県土地改良会館において、第51回通常総会を開催した。

当日の総会には宮崎東北農政局長、宮城県知事代理として庄子出納長、畠山宮城県議会議長ほか関係機関及び関係団体、並びに衆議院及び参議院の国会議員を来賓に迎え、会員多数が出席する中、主催者を代表して佐々木会長が挨拶（要旨別掲）を述べ開会した。

議事に先立ち表彰が行われ、役員功労者表彰として永年勤続功労の村田町外一町澄川土地改良区の大槻第1理事を初め12名、職員の部表彰として永年勤続功労の仙台東土地改良区の菅野事業課長補佐を始め5名の方々に対し、佐々木会長より表彰状並びに記念品が授与された。

引き続き、来賓を代表し宮城県知事代理の庄子出納長、宮崎農政局長、畠山宮城県議会議長並びに市川一朗参議院議員からそれぞれご祝辞を頂き、来賓紹介並びに祝電披露を行い議事に入った。

議事では、議長に鶴田川沿岸土地改良区の千葉榮理事長が選任され、第1号議案から第13号議案までの13案件が上程され、慎重審議の結果全議案原案どおり承認可決され審議を終了した。

最後に、本県の農業農村整備事業を一層積極的に推進を図るために決議案（別掲）が千葉専務理事より朗読上程され、満場の拍手により採択決定し、佐藤副会長が閉会の挨拶を述べ、総会の一切を終了した。

本総会の提出議案は次のとおり。

- 第1号議案 平成20年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成20年度一般会計収入支出決算の承認について
- 第3号議案 平成20年度財産目録の承認について
- 第4号議案 平成21年度一般会計収支補正予算の理事会専決処分に係る報告承認について
- 第5号議案 平成21年度賦課金の賦課基準の変更について
- 第6号議案 平成21年度一般会計収支補正予算の承認について
- 第7号議案 宮城県土地改良事業団体連合会規約の一部改正について
- 第8号議案 平成22年度事業計画について
- 第9号議案 平成22年度一般会計収支予算について
- 第10号議案 平成22年度役員報酬について
- 第11号議案 平成22年度経費の賦課徴収方法について
- 第12号議案 平成22年度一時借入について
- 第13号議案 平成22年度余裕金の預け入れ先金融機関について

表紙 平成21年度みやぎの中山間地写真コンクール 佳作「分校の春」
撮影地：丸森町羽出庭、撮影者：宍戸 司

第51回通常総会会長挨拶の要旨

本日は、会員の皆様には何かとご多用の中、ご出席を賜りまして誠に有り難うございます。また、ご来賓として、宮城県知事さん、東北農政局長さん、宮城県議会議長さん、国会議員の皆さんをはじめ、関係機関並びに関係団体の皆様方のご臨席を賜り、本総会が開催できます事に対し、深く感謝を申し上げます。

本連合会の運営につきましては、会員皆様方のご協力、そして只今ご紹介を申し上げましたご来賓各位の格別のご指導と、ご高配によりまして、円滑に進められておりますことに対しまして、改めて衷心より感謝を申し上げる次第であります。

さて、農業・農村を取り巻く環境は、近年地球規模での食糧危機が報道される中、食料自給率が平成20年度末で41%と、依然として低迷しております。本県の農業・農村においても米を初めとする農産物価格の低迷や過疎化、混住化の進展、担い手の高齢化の進行などにより、農業・農村の健全な維持発展はもとより国民に対する食料の安定供給が危ぶまれる状況になっています。国内的にも国際的にも今こそ安全で安心な食料の安定供給を図る農業農村振興施策など、時代の変化への的確な対応が求められております。

国が今月9日に公表した新たな「食料・農業・農村基本計画」の素案では、10年後の我が国の食料自給率を現行目標の45%から50%に引き上げる事としております。この目標達成に向けて、今後種々の施策が展開されるものと思われませんが、とりわけ、多様な農業生産や水田の裏作等の高度利用を可能とする農地や農業用水等の生産基盤を質的、量的に良好な状態で確保し、次世代の担い手に確実に継承していくことが不可欠の課題であり、本連合会並びに水土里ネットに課せられた最大の使命と自学しております。このため、地域環境の保全に配慮しつつ、地域の営農ビジョンに即した農業農村整備事業を着実に推進していく決意を新たにしているところであります。

こうした中、昨日、国の平成22年度予算が成立したところでありますが、この中において、食料自給率向上対策に極めて重要な役割を果たす農業農村整備事業予算が前年比36.9%と極めて信じがたい内容となっています。農業農村整備事業は地域の合意のもと、長期ビジョンに基づき計画的に推進しており、今回の予算は、営農意欲を減退させるのみではなく、今後の地域農業の推進に大きな影響を与え、ひいては国の目指す食料自給率向上にも支障をきたす事が懸念されます。

我々水土里ネットはこれまで一貫して国の施策に呼応し、事業の推進を図って参りました。今後とも国の目指す農業農村政策の方向に即し、活動を展開してまいり所存であります。このための必要な予算の確保に向けて、会員各位をはじめ、ご出席のご来賓、関係機関との連携を一層深めながら、農業農村振興発展に最大限の貢献を果たして参る所存でありますので、皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。

さらに、我々水土里ネット活動の一層の強化と事業推進を図ると共に、広く国民、県民に理解を深めて頂くことを目的に、平成23年に本県において、第34回全国土地改良大会の開催を決定したところであります。本大会の成功に向けて、皆様のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

本日の通常総会には、お手元の総会提出議案を上程致しておりますが、何卒宜しくご審議を賜り、全議案が順調に速やかにご承認されますよう、会員皆様の特段のご協力を重ねてお願い申し上げます。

決 議

農業・農村は、安全・安心な食料の安定供給とともに、豊かな自然環境、美しい景観の保全などの多面的機能の発揮を通じて、日本の国土を形成し、国民の日々の暮らしを支えてきた。

しかしながら、本県の農業農村は米をはじめとする農産物価格の低迷や過疎化、混住化の進展、担い手の高齢化の進行などにより、農業農村の健全な維持発展はもとより国民に対する食料の安定供給が危ぶまれる状況になっている。さらには、食の安全・安心に関する問題が顕在化する中、地球温暖化の進展、国際的な穀物価格の上昇など将来の食料の安定供給の確保に対する懸念も高まっている。

このような状況を踏まえ、本県の農業・農村が今後とも我が国の主要な食料基地として、食料供給の強化に不可欠な基盤整備や農村振興に必要な施策について、必要な予算の確保に努めつつ、積極的に展開していかなければならない。

我々水土里ネットは、国、県並びに市町村の支援を得ながら、先人達の叡智と努力の積み重ねに習い、農業者や地域の理解と協力のもと活力ある農村環境づくりと食料供給力の強化に積極的に貢献していく覚悟であり、下記事項の実現を図ることを総会の名において決議する。

記

- 一、食料の安定供給を担い、地域の環境や景観を創出するなど、公益的で多面的な効果を発揮する基幹的な農業水利資産を次世代に引き継ぐため、農業水利施設の計画的更新整備や食料自給率の向上に不可欠な生産基盤の整備に必要な予算措置を講じること。
- 二、農村協働力を活かした地域資源や農村環境の適切な保全と質的な向上を図るため「農地・水・環境保全向上対策」に対し、水土里ネットとして主体的に取り組んでいくこと。
- 三、頻発する災害への対応力を強化し安全・安心で快適な農業農村づくりに向けて防災・減災対策等を一層推進するとともに、都市との共生対流を通じて農村の活性化に取り組むこと。
- 四、地域農業の担い手の一員として、役割と責務を果たすべく水土里ネットの組織運営基盤の強化にかかる支援対策の一層の充実を図ること。

平成22年 3月25日

宮城県土地改良事業団体連合会

（水土里ネットみやぎ）

第51回通常総会

第51回通常総会・表彰者名簿

1. 団体の部表彰

該当団体なし

2. 役員の一部表彰 (12名)

【大河原支部】

永年勤続功労 (27年) 柴田郡村田町外一町澄川土地改良区 第一理事 おおつきせいじゅ 大槻静壽

【仙台支部】

永年勤続功労 (15年) 亘理土地改良区 第二理事 たけだいくお 武田幾雄
 合併功労 亘理郡坂元土地改良区 理事長 いわさ たかし 岩佐高

【大崎支部】

永年勤続功労 (15年10ヶ月) 小牛田町土地改良区 総括監事 さいとうふじお 齋藤富士男
 永年勤続功労 (15年3ヶ月) 遠田郡南郷土地改良区 理事長 あべさだむ 阿部定
 永年勤続功労 (15年3ヶ月) 遠田郡南郷土地改良区 筆頭理事 しばがきまこと 柴垣信

【栗原支部】

永年勤続功労 (15年6ヶ月) 真坂土地改良区 総括監事 さとうたか し 佐藤多賀志
 永年勤続功労 (15年7ヶ月) 西向土地改良区 理事 えんどうぎ 遠藤義一
 永年勤続功労 (15年7ヶ月) 西向土地改良区 監事 すずきしゅう 鈴木秀一

【登米・気仙沼】

永年勤続功労 (15年11ヶ月) 登米市豊里町土地改良区 理事 ささきしょういち 佐々木章一
 永年勤続功労 (15年11ヶ月) 登米市豊里町土地改良区 理事 いさわあきら 伊澤晃
 永年勤続功労 (15年8ヶ月) 迫川沿岸土地改良区 総括監事 ちばせいこう 千葉清幸

3. 職員の一部表彰 (5名)

【仙台支部】

永年勤続功労 (20年6ヶ月) 仙台東土地改良区 事業課長補佐 かんのつかさ 菅野つかさ
 永年勤続功労 (20年8ヶ月) 亘理土地改良区 事業課長補佐 ささきよういち 佐々木陽一

【大崎支部】

永年勤続功労 (20年) 小牛田町土地改良区 総務課長 えんどうまさゆき 遠藤正幸

【登米・気仙沼支部】

永年勤続功労 (20年6ヶ月) 登米市豊里町土地改良区 工務課灌排係長 しが いずみ 志賀泉
 永年勤続功労 (20年6ヶ月) 登米市豊里町土地改良区 総務課庶務係長 さとうくみこ 佐藤久美子



平成22年度予算決定



農業農村整備事業予算212,939百万円（対前年比36.9%）

国は3月24日（水）、平成22年度予算を決定した。一般会計総額は92兆2,992億円、うち政策に使う一般歳出は53兆4,542億円を計上した。

農業農村整備事業予算は前年度予算比36.9%の212,939百万円と厳しい内容となった。

決定された農業農村整備事業予算は次のとおり。

対策のポイント

食料供給力の強化に向け、農業水利施設の更新・保全管理や農地の排水対策などによる農地・農業用水の確保について支援を行います。

<背景 / 課題>

- ・農業の最も基礎的な生産要素である農地・農業用水を確保し有効活用して、食料供給力を強化するためには、水利施設の適切な更新や管理体制の強化、農地の排水改良といった生産基盤上の課題を克服する必要があります。

政策目標

農地に対する安定的な用水供給機能及び排水条件の確保
優良農地の確保・保全

<主な内容>

1. 農地と農業用水の保全・管理

(1) 農業水利施設の効率的な保全と管理体制の整備・強化

基幹的な農業水利施設を対象に、機能診断及び診断結果に応じた補修等の対策を実施します。また、農家を中心となって、地域住民やNPOなど多様な主体の参画による安定的な管理体制の整備・強化を図り、農業水利施設の機能を効率的に保全しつつ、これらが有する多面的機能を適切に発揮します。

【基幹水利施設ストックマネジメント事業（公共） 2,396（6,266）百万円】

【国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）（公共） 2,419（2,515）百万円】

(2) 地域の営農課題に対応した用排水条件の整備

水田の汎用化・有効活用を一層促進するため、排水改良を目的とした排水施設等の整備や合理的な水利用計画の策定、管理省力化施設の整備を推進します。

【地域水田農業支援排水対策特別事業（公共） 1,010（2,010）百万円】

【新農業水利システム保全対策事業（公共） 372（743）百万円】

2. 基盤整備による水田の有効活用

水田の有効活用や農地利用集積を一層進めるため、暗渠排水などの排水対策や大区画化等の基盤整備を推進します。

【国営農地再編整備事業（公共） 7,213（12,918）百万円】

【経営体育成基盤整備事業（公共） 11,430（60,785）百万円】

農山漁村地域整備交付金150,000百万円（対前年比皆増）

地域の自主性を活かし、より地域の実情に即した事業実施が可能となるよう新たな交付金制度が創設されました。

対策のポイント

自治体が農山漁村地域のニーズにあった計画を自ら策定し、農業農村、森林、水産各分野における公共事業を自由に選択し、総合的、一体的な整備を支援します。

<背景 / 課題>

地域の創意工夫を活かした農山漁村地域の総合的な整備を進めるため、農業農村、森林、水産の各分野でそれぞれが実施してきた既存制度を抜本的に見直しました。

自治体が農山漁村地域のニーズにあった計画を自ら策定し、農林水産省の各公共事業を自由に選択できるとともに、自治体の自由な創意工夫によるソフト事業も実施可能な、自由度が高く、使い勝手の良い新たな交付金を創設しました。

政策目標

農地、農業用水等の農業農村基盤の整備
森林の整備・保全による森林の多面的機能の発揮
水産物の安定供給の確保

<主な内容>

1. 都道府県又は市町村は、農山漁村地域整備の目標等を記載した農山漁村地域整備計画を策定し、これに基づき事業を実施します。

2. 以下の事業を総合的に実施することができます。

農業農村基盤整備事業

農業用排水施設整備、ほ場整備、農地防災、農業集落排水施設整備等

森林基盤整備事業

路網整備、県有林の間伐等の森林整備、予防治山等

水産基盤整備事業

漁港施設整備、漁場造成、水域環境保全、漁港漁村環境整備等

海岸保全施設整備事業

海岸保全施設整備、海岸環境整備等

効果促進事業

農山漁村地域整備計画の目標を達成するため、上記事業 ~ と一体となって事業効果を高めるために必要な事業

3. 国から都道府県に交付金を交付し、都道府県は自らの裁量により地区毎に配分できます。また、都道府県の裁量で地区間の融通、施設間の融通が可能です。

（水産基盤整備の一部事業については、市町村への直接交付も可能。）



平成21年度第3回理事会を開催



本会では去る12月9日(水)平成21年度第3回理事会を開催し、平成21年度一般会計収支補正予算の専決処分について他の審議を行った。

当日は佐々木会長はじめ理事7名が出席、監事3名及び参与の高橋宮城県農村振興課長の臨席により開催された。

初めに佐々木会長から挨拶があり、定款第25条第3項の規定により佐々木会長が議長を務めることで議事に入った。

議事は3案件を上程し、事務局から議案の内容説明等を行い、原案どおり承認可決された。

議事終了後、千葉専務理事から『秋の叙勲』並びに『県・文化の日表彰』について、本会・会員関係について、行政刷新会議による事業仕分けについて、等について連絡を行い、最後に高橋参与から挨拶を頂き理事会は終了した。

理事会提出議案は次のとおり。

- 第1号議案 職員給与規程の一部改正について
- 第2号議案 平成21年度一般会計収支補正予算の専決処分について
- 第3号議案 職員表彰について



平成21年度第4回理事会を開催



本会では去る2月23日(火)平成21年度第4回理事会を開催し、第51回通常総会の提出議案について他の審議を行った。

当日は佐々木会長はじめ理事11名が出席、参与の高橋宮城県農村振興課長の臨席により開催された。

初めに佐々木会長及び高橋参与から挨拶を頂き、議事に入った。

議事は6案件を上程し、専務局から議案の内容説明等を行い、原案どおり承認可決された。

議事終了後、千葉専務理事から 請願活動について、農業農村整備事業予算に係る対応について、財政的援助団体等の監査結果について、土地改良区等における政治的中立の確保について、国に対する陳情・要望について、平成21年度農業農村整備事業広報大賞優秀賞の受賞について、等の連絡を行い理事会は終了した。

理事会提出議案は次のとおり。

- 議案第1号 職員就業規則の一部改正について
- 議案第2号 職員給与規程の一部改正について
- 議案第3号 役員報酬支給規程の一部改正について
- 議案第4号 第51回通常総会の提出議案について
- 議案第5号 第51回通常総会の日時及び場所の決定について
- 議案第6号 第34回全国土地改良大会宮城大会運営委員会の設置について



平成21年度第3回監事会を開催



本会では去る12月9日(水) 小野寺総括監事はじめ監事3名の出席により平成21年度第3回監事会を開催した。

議事には次の1案件が提出され、審議の結果原案どおり承認された。

第1号議案 平成21年度一般会計収支補正予算の専決処分に係る承認について



平成21年度第1回役員会を開催



本会では去る1月21日(木) 平成21年度第1回役員会を開催した。

当日は佐々木会長はじめ理事、監事13名が出席、参与の高橋宮城県農村振興課長の臨席により開催された。

初めに佐々木会長から、「平成22年度当初予算が対前年度比で4割を切るという不測の事態となったことを受けて、緊急に集まって頂いた。役員の皆様の率直な意見を伺いたい。」と挨拶があり、千葉専務の進行により議事に入った。議題は『平成22年度予算の概要と今後の対応について』ということで、これまでの経過及び予算の概要について説明があったのち、意見交換がなされた。

これまでのように事業制度に頼るばかりではなく、国民から背中を押してもらえるような取組をすべきではないか。新しい切り口の事業を模索すべきではないか。23年度に予定されている全国土地改良大会の開催方法についても経費の面など吟味すべきである。等々、活発な意見交換がなされた。また、千葉専務から専務局サイドとしても『2010水土里ネットみやぎ自立への挑戦(その1)』と銘打ち、全職員からの提言をうけ、業務改善検討委員会で集中検討を行い、22年度以降順次改革を進めていきたいとの方針が示された。



平成21年度役員研修会を開催



本会では去る12月9日(水) 平成21年度役員研修会を開催した。

研修は、初め岩堂沢ダムに向かい、大崎上流農業水利事務所の説明により現地を視察研修したのち、鳴子観光ホテル会議室において東北農政局大崎農業水利事務所の小泉所長から講演を頂いた。

研修内容は次のとおり。

- 1 現地視察研修
 国営かんがい排水事業『大崎地区・岩堂沢ダム』
 (説明者：山田 東北農政局大崎上流農業水利事業建設所長)
- 2 講演
 大崎耕土の水土里を未来に！『最近の水事情と大崎地域農業水利事業の完工にあたって』
 (講師：小泉 東北農政局大崎農業水利事務所長)



ISO9001 : 2008 更新される



去る2月24日～25日の2日間にわたり、認証機関である(財)日本品質保証機構(JQA)により、ISO9001:2008規格に基づく品質マネジメントシステムの継続的な適合性および有効性、ならびに認証の範囲に対する適切性についてを内容とする定期審査が実施された。

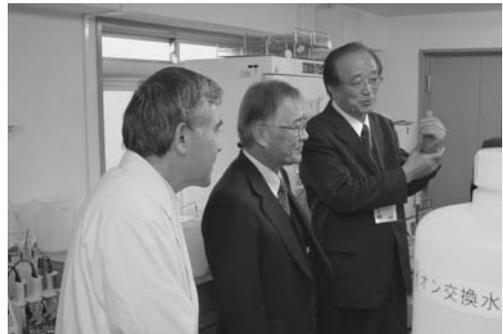
これまで13回の更新を経て、今回の審査は通算14回目となり、本会プロセスであるQMS、契約、設計、換地、調査・管理、購買の各プロセスについて審査をうけた。

その結果、組織全体としての品質マネジメントシステムは継続して有効であると判定された。

なお、次回以降の定期審査は年間2回の定期審査方式から年1回の定期審査方式に変更することで(財)日本品質保証機構(JQA)と合意した。



トップマネジメントインタビュー



企業内概略見学(水質検査室)



平成21年度みやぎの農業用水を考える シンポジウム2010



基調講演 講師：あん・まくどなると氏

去る1月13日(水)仙台市福祉プラザふれあいホールにおいて、農業用水水源地域保全対策事業の普及啓発活動の一環として「平成21年度みやぎの農業用水を考えるシンポジウム2010」を開催した。

このシンポジウムは「良質な農業用水を供給する森林は、水源かん養林機能や土砂の流出・崩壊防止機能と県土の保全にも役立っています。平成19年度からスタートした農業用水水源地域保全対策事業を活用しながら、水土里ネット各支部においてこれらの機能を持続的なものにするためには、水の恩恵を受けている農業者が中心となって啓蒙普及等の活動を展開することが必要だとの認識のもとPR活動を展開してきたところであり、

平成21年度以降、更に森林と農業用水の役割や課題について理解を深め、普及促進活動に資するため」を目的として実施し、本会会員ならびに国や県、一般等181名が参加した。

シンポジウムは、水土里ネットみやぎ千葉専務理事の主催者挨拶に始まり、続いて後援者を代表して宮城県農林水産部長千葉宇京氏より祝辞をいただいた。基調講演では、講師に宮城にゆかりの深く、現在は国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長 あん・まくどなると氏を招いて『森林と水土里と地球環境を考える』と題して講演を行った。あん先生は日本全国の農村をくまなく歩き、現在の農村事情に大変詳しく、スライドを交えながら農業・農村を守る大切さ、重要性を経験談をふまえ、また里地・里山だけではなく、里山・里海を守っていく大切さも力強く話された。

パネルディスカッションでは、宮城大学食産業学部加藤徹教授をコーディネーターに、パネラーとして七ヶ宿町梅津輝雄町長、水土里ネット加美加藤孝志理事長、東北農政局整備部水利整備課柵木環課長の3

人に、基調講演をいただいたあん先生を交え、『農業用水と森林保全について』と題し、森林を守る代表、農業用水を使う代表、行政代表それぞれの立場で、開場の参加者を交えた熱気あるディスカッションをいただき。最後に、コーディネーターの加藤教授から上流側と下流側で協定を結び、一般市民を巻き込みマスコミ等にアピールする活動を臨むということでパネルディスカッションを閉めていただいた。

参加者へのアンケートでは「森林、農業用水、環境等の必要性、重要性が改めて認識させられた。」「里山・里海の繋がりを意識したり、上流下流の水の連携を大切にすることが大事だと思いました。」「森林と農業用水についてのシンポジウムではあったが、地球環境にも繋がる大変有意義な機会だった。またこのような研修会があれば参加したい。」など林業、農業、環境に関しての様々な感想が寄せられた。



パネルディスカッション



一般、関係者等 181名の参加



みやぎの農村環境保全シンポジウム みんなで考えよう！美しい農村づくり ～農地・水・環境保全の取組～



基調講演 講師：辰巳琢郎氏

去る1月16日(土)イズミティ21(仙台市泉文化創造センター)において、宮城県、宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会主催により、「みんなで考えよう!美しい農村づくり」をテーマに、みやぎの農村環境保全シンポジウムが開催された。

肌寒さを感じる中、一般県民、活動組織構成員、関係者など710名が参加し、千葉協議会会長(宮城県農林水産部長)の挨拶により開会した。まず、俳優の辰巳琢郎氏による日本と海外の食文化の違い等を話題として交えながら「豊かな農村(ふる里)づくりに向けて!」と題した基調講演があった。

つづく事例発表では、下刈敷地区環境保全活動組織の菅原氏より、地元小学生と一緒に環境保全活動を行い美しい環境でコメを栽培し、ブランド化を連動させ「栗原・めだかっこ米」として販売している活動が紹介され、地域づくりにまで発展したことに触れ「小さなメダカのロマンは始まったばかり。この活動をてこに、新しい農村社会の活性化を目指したい」と話した。

次に、下新田上ふるさと環境保全会(加美町)の近田氏より、学校教育との連携を図り農業の役割や意義、重要性などについて伝える活動が紹介された。

最後にNPO法人田んぼ理事長の岩淵氏による「田んぼにおける環境負荷低減の取組とトンボとの関係について」と題した講演があり、千葉協議会副会長(本会専務理事)の挨拶により閉会した。



一般県民、関係者を含め710名が参加した



下刈敷地区環境保全活動組織菅原氏（左）
下新田ふるさと環境保全会近田氏（右）による事例発表

NPO法人 田んぼの岩瀬理事長



全土連第52回通常総会開催される



去る3月26日(金)、東京都千代田区「日本都市センター」を会場に、全国土地改良事業団体連合会第52回通常総会が開催された。

総会開催にあたり野中会長から、『食料をめぐる国際環境は、長期的に大変厳しくなるものと予想されておりますことから、我が国の食料自給力を高めていくということが喫緊の国家的重要課題と考えております。我が国の食料自給率と供給力を高めていくためには、私ども水土里ネットが守ってきた農地と水利施設をしっかりと保全し、農地のより一層の高度有効活用を可能とすべくことが必須の条件であると思っております。しかしながら先日成立した平成22年度農業農村整備事業予算は対前年比37%と大変厳しいものとなっていることから、各水土里ネットからの予算の是正を求める声が上がってきていることに大変心強く感じ、我々全国水土里ネットも、予算の獲得について引き続き努力していく』との趣旨の挨拶があった。

引き続き、水土里ネット神奈川の落合会長を議長に選出し、提出11議案の原案承認と役員の補欠選任を行った。

なお、平成22年度事業計画では、

- 食料自給力向上に資する農地の確保と高度利用の推進
- 継続的な農業生産の礎となる土地改良施設の計画的な更新整備の推進
- 土地改良施設の適正な維持管理体制の充実強化と多様な主体の参画促進
- 農地と土地改良施設の高度利用のために必要なソフトインフラ整備の推進
- 水土里ネットの時代に応じた役割と使命の在り方の検討
- 農村の地域資源と田園環境の維持増進につながる活動の充実強化
- 食料基盤確保と農村地域資源の保全等に係る国民合意に向けた広報活動の推進が基本方針として承認された。

最後に決議案を満場一致で採択して総会を終了した。なお、提出議案並びに新たに選任された役員は次の通り。

- | | |
|--------|---|
| 第1号議案 | 平成20年度事業追加報告について |
| 第2号議案 | 平成20年度収入支出決算について |
| 第3号議案 | 平成21年度事業中間報告について |
| 第4号議案 | 平成21年度収入支出補正予算について |
| 第5号議案 | 平成21年度土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業特別会計収入支出予算について |
| 第6号議案 | 平成22年度事業計画について |
| 第7号議案 | 平成22年度収入支出予算について |
| 第8号議案 | 平成22年度土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業特別会計収入支出予算について |
| 第9号議案 | 平成22年度経費の賦課について |
| 第10号議案 | 役員の報酬について |
| 第11号議案 | 一時借入金について |
| 第12号議案 | 役員の補欠選任について |

新たに選任された役員

理事	堀口 健治 早稲田大学常任理事・副総長	理事	服部 忠行 三重県土地改良事業団体連合会
理事	高貝 久遠 秋田県土地改良事業団体連合会	理事	木村 肇 鳥取県土地改良事業団体連合会
監事	西村 徹 石川県土地改良事業団体連合会	監事	宮本 正則 長崎県土地改良事業団体連合会



全国水土里ネット表彰式が開催される
- 経営体育成基盤整備事業『枝野地区』
(角田隈東土地改良区) が農林水産大臣賞を受賞 -



去る3月26日(金)東京都千代田区「シェーンパッサ・サボー」において、全国水土里ネットの主催による表彰式(第51回全国土地改良功労者表彰・農業農村整備優良地区コンクール表彰・土地改良事業地区営農推進優良事列表彰)が開催された。

表彰式には、全国から土地改良区・市町村等の受賞者並びに全国水土里ネット会員、また来賓として農林水産省農村振興局整備部の長谷川土地改良企画課長及び田野井農地資源課長が出席して行われた。

土地改良功労者表彰では、農林水産大臣表彰・優良土地改良区5団体、全土連会長表彰・優良土地改良区141団体(金章36団体・銀章60団体・銅章

45団体)、個人表彰96名、小坂賞として1名が晴れの荣誉に輝いた。

また、農業農村整備優良地区コンクール表彰では、農林水産大臣賞3地区(農業生産基盤整備部門:2地区・農村振興整備部門:1地区)、農村振興局長賞4地区(農業生産基盤整備部門:3地区・農村振興整備部門:1地区)、全土連会長賞10地区(農業生産基盤整備部門:7地区・農村振興整備部門:3地区)が受賞した。

土地改良事業地区営農推進優良事列表彰では、農林水産大臣賞1地区(受益農家集団の部)、農村振興局長賞3地区(受益農家集団の部)、全土連会長賞5地区(受益農家集団の部)が受賞した。

なお、本県関係で受賞した団体並びに個人は次のとおり。

土地改良功労者表彰

団体表彰の部(2団体)

- 金章 大和町土地改良区
- 銀章 富谷北部土地改良区

個人表彰の部(3名)

- 青沼 常雄 (前・大崎土地改良区理事長)
- 黒沼 和良 (遠田郡南郷土地改良区総務課長)
- 阿部 博 (石巻市北方土地改良区総務課長)

農業農村整備優良地区コンクール表彰

農業生産基盤整備部門(1団体)

- 農林水産大臣賞 角田隈東土地改良区

受賞された皆様、大変おめでとうございます。



鳴瀬川中流地域土地改良区合併 予備契約調印式が開催される



遠田郡南郷土地改良区
鹿島台東部土地改良区
小牛田町土地改良区



大崎管内の遠田郡美里町並びに大崎市鹿島台にある遠田郡南郷土地改良区（阿部 定理事長：受益面積2,973ha、組合員1,592人）と鹿島台東部土地改良区（公平和始理事長：610ha、組合員578人）並びに小牛田町土地改良区（今野博史理事長：受益面積1,180ha、組合員955人）の合併予備契約調印式が、去る2月10日（水）午前10時30分から美里町の農村環境改善センター大ホールで開催された。

調印式には、両土地改良区役職員並びに関係機関からの出席者約90名が出席し、「行政との連携強化」

「農業農村整備事業の計画的推進」、「農業用排水の管理の一元化と適正化」、「安心・安全の確保と農業・農村の多面的機能の発揮」、「経営基盤の強化と事務的・技術的能力の向上」等を目的に、合併予備契約調印式を行った。

本地区の経過は、平成14年度より国営鳴瀬川水系での統合を模索し、種々検討協議を重ねてきたところであったが、平成20年3月に水系一本化での統合が困難との結果になった。この段階で今回の3土地改良区は、国営事業で造成された鳴瀬川中流頭首工に係る土地改良区のみで統合を検討してはどうかとの話になり、平成20年2月に合併検討委員会を設立、以来運営状況の分析、将来の維持管理の在り方等々3土地改良区を中心に幹事会並びに検討委員会での協議を重ね、平成20年11月合併協議会へ移行した。

合併協議会では、現状分析等については水系全体で検討してきた経緯もあり、その分析結果をもとに具体的な合併後の姿について検討に入り、平成22年2月4日に合併計画書（案）並びに予備契約書（案）が承認されたものである。

予備契約調印に至るまでには種々問題等があったものの、その間全国水土里ネット等からご支援をいただき、最終的に関係土地改良区役職員のご理解とご英断により調印に至ったものである。

調印式では、協議会長である阿部遠田郡南郷土地改良区理事長から「農業・農村を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増大等課題が山積している。こうした中で、食料生産基盤の次世代への継承や、魅力ある農村空間の保全と、創造に向けた取り組みが重要である。農業農村の多面的機能の発揮、土地改良区運営基盤の強化等を目的に組合員の要望に的確に対応できる組織を構築して欲しい。」と式辞があり、続いて、協議会副会長の公平鹿島台東部土地改良区理事長より予備契約調印に至るまでの経過報告があった。

その後遠田郡南郷・鹿島台東部・小牛田町の各土地改良区の理事長と伊藤大崎市長、佐々木美里町長、高橋北部地方振興事務所長を立会人として予備契約書に調印した。

次に、伊藤大崎市長と佐々木美里町長から挨拶を頂き、更に来賓祝辞として青沼大崎市議会議長、高橋県北部地方振興事務所長、そして本会佐々木会長



から祝辞があり、最後に今野小牛田町土地改良区理事長の閉会挨拶で、午前11時30分無事終了した。

両土地改良区は、平成22年3月中旬までに総代会を開催し、合併の議決のほか土地改良区の定款や事業計画書等について総代会の承認を得、更には債権者との協議を経た上で平成22年7月中旬に宮城県知事宛て認可申請書の提出を予定し、同年9月1日新たな美里東部土地改良区（受益面積4,763ha、組合員3,115人）となる予定である。



平成21年度農用地等集団化事業 優良地区等表彰式



去る3月17日（水）にKKRホテル仙台「蔵王の間」において、平成21年度農用地等集団化事業優良地区及び功労者表彰式が東北6県から 名の参加のもと開催された。

この表彰式は、農用地等集団化を実施した地区で成績が優良であり他の範となるものを表彰し、その成果を讃えらるとともに優良事例として広報し、農用地等集団化事業の促進を図ることを目的としている。

式は、東北農政局主催の農林水産大臣表彰・東北農政局長表彰と、東北農業農村整備推進協議会東北農地集団化促進部会の優良地区・功労者表彰を同日に開催している。

なお、本県関係の受賞は下記のとおり。

- | | | |
|-----------------------|-------|------------|
| 全国農地集団化協議会会長表彰 優良地区 | | |
| 宮城県 | 出来川右岸 | 小牛田町土地改良区 |
| 東北農業農村整備推進協議会長表彰 優良地区 | | |
| 宮城県 | 大瓜東部 | 石巻市稲井土地改良区 |
| 宮城県 | 河南2期 | 河南矢本土地改良区 |
| 東北農業農村整備推進協議会長表彰 優良地区 | | |
| 宮城県 | 山家とき子 | 蔵王町土地改良区 |



全国農地集団化協議会会長表彰
優良地区 出来川右岸地区



東北農業農村整備推進協議会長表彰
優良地区 大瓜東部地区



東北農業農村整備推進協議会長表彰
優良地区 河南2期地区



東北農業農村整備推進協議会長表彰
功 労 者



第11回 農業集落排水施設管理 技術研修会を開催



去る2月5日（金）宮城県土地改良会館5階大会議室において、農業集落排水施設管理技術研修会が開催された。この研修会は、県内の農業集落排水処理施設を担当する職員の管理技術の向上を図ることを目的として実施している。

今年度は、本会職員が中央研修会で研修してきた情報等を、午前中に「中央研修会からの報告」として、機能強化（改築）技術、全国集排担当者研修会、施設維持管理（機械・電気）について3名から報告を行った。

また午後からは(社)地域資源循環技術センター田中主任研究員が講師となり、「集排ストックマネジメントの概要」、「集排ストックマネジメントの調査及び評価」、「集排ストックマネジメント最適化構想計画」として、集排ストックマネジメントとは、またその調査等の実践、それらを使用しての市町村としての「最適化構想計画」の作成までの研修を行った。

長寿命化等、集排施設のストックマネジメントは、これからの維持管理を行っていく上で必要不可欠なものになっており、市町村の財政等を考慮しながら改修時期の選定等「最適化計画」を作成することが必要となってきている。

国では、「低コスト型農業集落排水施設更新支援事業」として100%補助を行っており、市町村での活用が期待されている。この事業は、H23年度までですが、50%補助で継続する方向で検討されている。

研修会のカリキュラムは、次のとおり。

研 修 内 容	講 師 名
・ 中央研修会からの報告 (機能強化、全国会議、維持管理)	本会 職員 農村整備部 集落排水班
・ 集排ストックマネジメントの概要	地域資源循環技術センター 主任研究員 田中 正
・ 集排ストックマネジメントの調査及び評価	地域資源循環技術センター 主任研究員 田中 正
・ 集排ストックマネジメント最適化計画	地域資源循環技術センター 主任研究員 田中 正
・ 質疑応答	



農業集落排水施設管理技術研修会



主催者挨拶：永倉技監



平成21年度みやぎの中山間地 写真コンクール審査発表



去る2月15日(月)宮城県土地改良会館役員室において、平成21年度みやぎの中山間地写真コンクール審査会が開催された。

このコンクールは中山間地域の四季、風景、暮らしを紹介し、この地域の存在の重要性をアピールし広く県民に認識してもらうことを目的に平成14年度から実施しており、今回が8回目の開催となった。

応募は、宮城県内で撮影されたもの37点の応募作品を対象に、4名の審査員(宮城県写真連盟副会長：関根勇一氏、宮城県中山間(協)会長：渡辺政巳氏(丸森町長)、宮城県農林水産部次長：高橋清隆氏、水土里ネットみやぎ専務理事：千葉敬記氏)により厳正な審査が行われた。

いずれの作品も甲乙付けがたい作品揃いで審査員を悩ませましたが、以下の通り入賞作品を選定した。なお、入賞作品はホームページ「みやぎふれあいネット【<http://www.net-miyagi.org>】」で掲載しておりますので、是非ご覧下さい。



最優秀賞 【高原の朝】

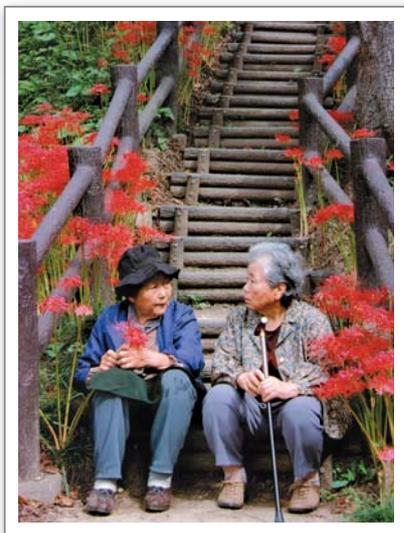
撮影地：加美町小野田

中山 隆夫

神秘的な朝の訪れに生命力を感じます。
高原の広大なたばこ畑を照らす空気感を
広角で捉え、力強いシルエットの薬来山と
の一体感を評価しました。

優秀賞 【語らい】

撮影地：大崎市 太田 実



優秀賞 【秋 日】

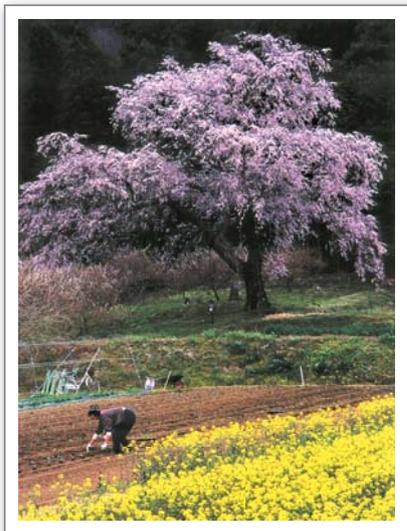
撮影地：仙台市泉区根白石 渡辺袈裟実



佳作【春】

撮影地：仙台市太白区茂庭

本名 正孝



佳作【秋色】

撮影地：丸森町沢尻 千葉 恵



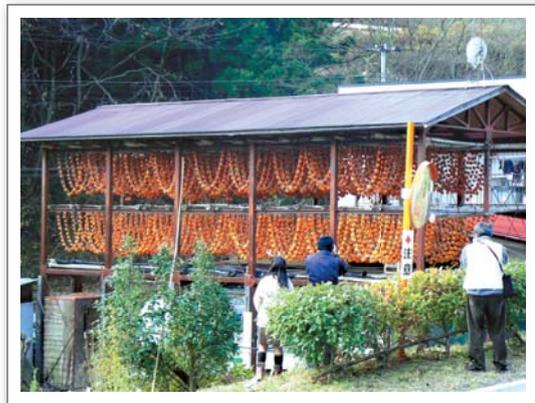
佳作【分校の春】

撮影地：丸森町羽出庭 穴戸 司



佳作【かきのれんとカメラマン】

撮影地：丸森町耕野 湊 まや



<p>富士ゼロックス宮城のサービスメニュー「Vplus」</p> <p>Vplus Voice plus Value</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様の声（VOC）活動見学会 オフィスにおけるTCO削減の進め方 事件・事故の実例に学ぶセキュリティ対策 <p>お客様の課題解決がきっと見つかる。お役立ちメニューは34種。詳しい内容、お申込みはWEBから！</p> <p>富士ゼロックス宮城 <input type="button" value="検索"/></p>		<p>セキュリティ対策なら富士ゼロックスのbeatへ！</p> <p>安心で安全で安価なネットワーク構築をお約束します。小規模オフィスLANや事務所間のネット構築もOK！これが話題のbeatです。</p> <p>FUJI XEROX</p> <p>お問い合わせは 富士ゼロックス宮城（株）まで！</p> <p>〒980-0022 仙台市青葉区五橋1丁目1-23 カメイ五橋ビル5F 電話:022-221-2131 FAX:022-221-2170</p> 	
---	--	--	--


**平成21年度 農業農村整備技術強化
対策事業一般研修を開催**


去る1月21日(木) 本会館において県内農業農村整備事業に携わる、県、市町村、土地改良区、本会職員80余名の参加を得て、農業農村整備技術強化対策事業一般研修を開催した。

本研修会は、農業農村整備に関する最近の動向及び事業推進並びに事業計画・実施にあたって必要とされる知識技術等の習得を目的に毎年実施している。

開会にあたり、本会千葉専務より「今後の農政事情の変化に対応していくためには生きた最新の情報が重要であり、本研修を通じて地域の農村振興に役立てていただきたい」と挨拶があった。



引き続き研修に入り、東北農政局整備部設計課の黒澤技術審査官より農業農村整備事業を巡る最近の情勢についての講義を受けた。又、宮城県農林水産部農村振興課の柳谷技術副参事からは、平成21年度実施会計検査報告の概要についての講義を受け、東北農政局土地改良技術事務所の山岸施設・管理課管理技術係長からストックマネジメントにおける水路等の補修・補強方法についての講義を受けた後に、本会の伊藤管理指導部次長がストックマネジメントにおける用排水機場の一次診断と二次診断についての講義を行った。

研修のカリキュラムは下記のとおり。

研 修 内 容	講 師 名
農業農村整備事業を巡る最近の情勢について	東北農政局整備部設計課 技術審査官 黒澤策郎
平成21年度実施会計検査報告の概要について	宮城県農林水産部農村振興課 技術副参事兼技術補佐(総括担当) 柳谷秀雄
ストックマネジメントにおける水路等の補修・補強方法	東北農政局土地改良技術事務所 施設・管理課管理技術係長 山岸裕之
ストックマネジメントにおける用排水機場の一次診断と二次診断について	水土里ネットみやぎ 管理指導部次長 伊藤英一

BV CAD/RS Civil ver.7

BIGVAN INC.

電子納品を強力にサポートする『CAD 製図基準アシスト T2』及び、土木図面を作成するための『土木オプション』を標準搭載し、土木図面作成から電子納品までをこれ一本でサポートします。

株式会社ビッグバン 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-8-12NKビル 9F tel 03-3851-2227 fax 03-3851-2228
ホームページ <http://www.bigvan.co.jp/>

土木オプション	入出力
<ul style="list-style-type: none"> ・SIMA データ ・SIMA-DM ・座標一覧 ・クローン ・法面記号 ・土量計算 ・面積計算 ・トラバース/逆トラバース 	<ul style="list-style-type: none"> ・BVF ・DXF/DWG ・JWC/JWW ・SXFver.3.1(sfc/p21) ・Tiff/GeoTiff(入力のみ)

土地改良区 めぐり 

迫川上流土地改良区

地区の概要

本地区は、宮城県北部の栗原市、登米市及び岩手県一関市の2県3市に跨るおよそ1万500haの農業地帯です。主な水源は、花山ダム（迫川）、栗駒ダム（迫川）、荒砥沢ダム（迫川）、小田ダム（迫川）の4つのダムです。国営かんがい排水は、平成18年3月に完了、国営附帯県営かんがい排水事業は、平成22年度完成となっていて、用水施設の整備により用水の安定供給が図られました。

一方、関連事業により末端水路の整備、ほ場整備等の基盤整備は、約70%の整備率であり、営農の合理化と複合経営の促進を図るため推進中です。

組織の沿革

迫川上流土地改良区は、北上川水系迫川及びその支線の二迫川、三迫川並びに花山ダム、荒砥沢ダム、栗駒ダム、小田ダムに依存し、宮城県栗原市、登米市及び岩手県一関市の2県・3市に跨るおよそ1万500ヘクタールに及ぶ県内最大の土地改良区です。5土地改良区(石越町・三迫川沿岸・一迫川沿岸・若柳川南・二迫川沿岸)が平成13年3月に統合整備研究会を設置、その後平成18年3月に統合整備推進協議会へと移行し、組合員への啓発活動を含む数々の検討を経て、平成20年4月30日に予備契約調印、同年10月24日合併認可申請を東北農政局長に提出し、平成21年1月30日付けで東農局第8号をもって認可を得て現在に至っています。歴史的には旧石越町土地改良区を除く栗原市管内の4土地改良区は、国営迫川上流農業水利事業に附帯する県営かんがい排水事業の受け皿として設立され、関係市の全面的な支援により運営し、その間、平成7年3月に迫川上流土地改良区連合を設立し国営造成施設の共同管理を行いながら歩んできました。近年、個々の土地改良区経営基盤は弱体化の傾向にあったため、市行政との連携を強化しつつ、施設管理と水管理の一元化による適正化を図り、併せて運営基盤の強化と事務的・技術的能力の向上を図るべく新土地改良区が誕生したものです。

〒989-5502
 宮城県栗原市若柳字川南戸の西4番地
 （栗原市若柳総合支所内）
 電話 0228-32-7181
 FAX 0228-32-7183
 E-mail : jouryu@hakuue.jp



【事務所は栗原市若柳総合支所内の2階にあります】

迫川上流土地改良区 理事長 高橋 義矩

政権交代に伴う政策は、農業農村整備事業の取り巻く情勢に大変厳しいものがあり、土地改良事業の予算も大幅な減額になる等、不安定な農業情勢に更なる厳しさをますます感じます。また個別所得補償の戦略は、生産物の需給バランスに伴う価格形成に期待するものでありますが、農家個々の所得低下に歯止めが掛からない状況です。賦課金の滞納も増え、改良区運営にも大きな問題となっておりますが、思考をめぐらしながら滞納問題に取り組んでいるところであります。

各種事業の概要



有賀第2排水機場

本土地改良区は、地区の概要等でも示したとおり4つのダムから放流される一級河川が5本、それらに付随する国・県営の施設水路等も多く、更には市からの末端施設等を含む膨大な施設の維持管理も行っております。その様な中で経営体育成基盤整備事業は、換地計画書作成及び換地清算等の地区を含め7地区実施中であり、また、荒砥沢ダムは岩手・宮城内陸地震による土砂崩壊等の災害によって本来の貯水量を確保することが出来なくなったことから、用水不足が深刻である築館沖富地区に 農村災害対策整備事業で代替調整池を建設する事になり、そ

の用地取得の方法を換地手法の特別減歩による創設換地とし、ほ場整備事業に取り組むこととなりました。

維持管理事業としては、通常の維持管理は勿論のこと5つの施設で事業費合計額21,525,000円の維持管理適正化事業を施行し、更に平成21年度からの新規事業である農地有効利用支援整備事業を20カ所程度実施する等、関係機関と連携しながら事業に取り組んでおります。



代替調整池等の施行

水土里の活用

土地改良区の役割及び愛称である「水土里ネット」の意味を広く知ってもらうため、土地連古川事業所並びに宮城県の地方振興事務所地域事務所と連携しながら21世紀土地改良区創造運動及び農業用水水源地域保全対策事業による活動を展開しています。

創造運動では、「花いっぱい運動」や「クリーンな水路・生き物移住」の活動を通して、農村と都市が混在する地域にも水・土・里の環境に配慮している状況を、子供たちと一緒に楽しみながら勉強しております。

農業用水水源地域保全対策事業では、伊豆野頭首工の伊豆野せせらぎ公園において、水の大切さを多くの人たちに知ってもらうため伊豆野堰祭りを開催しました。クイズ形式による勉強や紙芝居で先人達の歴史を学び、伊豆野堰による農業用水により作物が出来る喜びなどについても学びました。

今回は小田ダムの視察も実施され、参加された皆さんは普段何気なく使用している「水」の大切さを実感しておりました。



景観に配慮した活動



生き物調査



小田ダム視察

事業(制度)紹介

農業基盤整備資金（非補助）の融資制度について

土地改良区の運営合理化のために行う維持管理事業や、農村に於ける集落排水の整備事業まで、幅広くご利用いただける資金です。

土地改良区の運営合理化のために

土地改良区の事務の運営合理化や土地改良施設の維持管理の合理化のために行う事業であって、「土地改良施設の整備事業及び維持管理事業」に該当するものは、補助・非補助を問わず、農業基盤整備資金がご利用いただけます。

対象となる事業

水管理の集中化による維持管理費の削減	頭首工、揚水機場、分水工の水位・流量等の情報を収集し、的確な操作指示を行う集中管理施設の設置 かん水手動バルブを自動バルブに入替え、集中管理する施設の設置
事務OA化による経費削減	OAシステム化の整備（賦課金徴収システム、償還金システム、積立金システム等の開発・ハードウェア整備など） ※ソフトウェアの購入のみを対象とすることはできません。
施設・用水の多目的利用	農業用水を利用した小水力発電施設（自家発電による電力料の削減）の設置による受益者負担の軽減
集中計算施設の設置による経費削減	賦課金額を用水使用料に比例させる場合の賦課金額自動計算のための集中計算機の設置と水栓バルブに付設するメーターの設置

ご融資条件

償還期限：25年以内（うち据置期間10年以内）
 融資限度額：負担額の全額　ただしお借入可能な最低限度額は50万円です。
 金利：借入時の金利は金融情勢により変動します。最新の金利は、融資期間にご照会ください。

集落排水の整備のために

農業集落排水事業として実施する浄化槽の設置や、各家庭までの排水管敷設工事、更にはトイレ、浴室、洗面所の改修のほか、災害による農業集落排水施設の復旧工事に対してまで、幅広くご利用いただけます。

ご利用いただける方

農業を営む方が構成員の5割を超える団体（維持管理組合など）、農業を営む方、農業振興法人

対象となる事業

補助事業	農業集落排水に係る農林水産省の補助事業の地元負担分が対象となります。 ※都道府県等地方公共団体が事業主体となって事業が行われますが、その受益者に賦課される負担分が対象となります。
非補助事業（融資単独自業）	資金のお借入が補助事業完了時（供用開始時）から3年以内に行われること。 具体的には、住宅内排水管の設置及びトイレ、浴室、暖房、洗面所の改修工事等が対象となります。

ご融資条件

償還期限：25年以内（うち据置期間10年以内）

融資限度額：

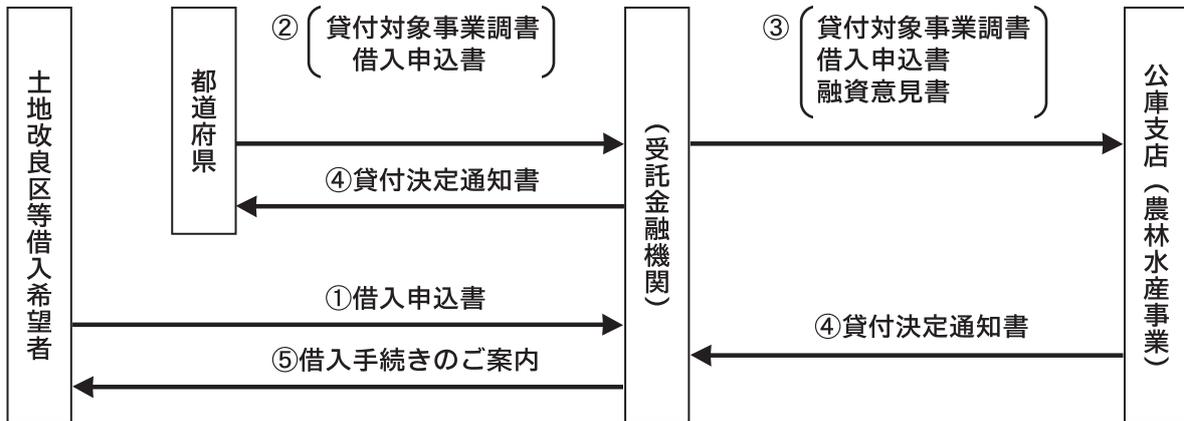
ご融資対象となる事業	融資限度額
宅地内排水管・屋内排水管の敷設集水ます・合接ますの設置・トイレの改修	負担額の全額
浴室の改修	100万円
台所の改修	50万円
洗面所の改修	10万円

ただしお借入可能な最低限度額は50万円です。
 例えば構成員10戸の維持管理組合が100万円（1戸あたり10万円）を借入れる場合は50万円を越えますので対象となります。

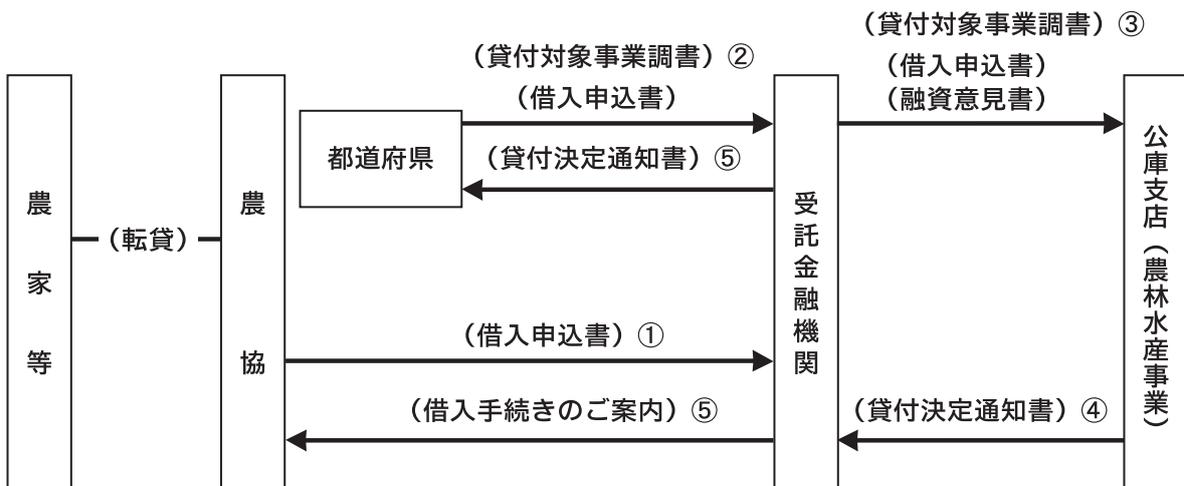
金利：借入時の金利は金融情勢により変動します。最新の金利は、融資期間にご照会ください。

（平成22年4月）

公庫資金の流れ（借入申込みからご融資まで）



（集落排水事業の場合）



〒980-6011
 仙台市青葉区中央4丁目6-1
 株式会社日本政策金融公庫 仙台支店 農林水産事業
 【お問合せ先】フリーコール 0120-911547

農地・水・環境保全向上対策

南大畑環境保全会

今回は、宮城県内517の活動組織の中から「南大畑環境保全会」の活動をご紹介します。南大畑環境保全会は、登米市南方町の活動組織で、農業者75名、非農業者49名、合計124名により活動しています。

主な活動を紹介します。

- * 水路の管理（水路払い、草刈り作業、水路の補修）
施設は維持管理が基本。保全会総出で参加！（延べ参加者 農業者421名、非農業者116名）



- * 農道の管理（農道の敷き砂利、側溝清掃）
農道もバージョンアップ！（延べ参加者 農業者50名、非農業者50名）



- * 農用地の管理（草刈り作業）
転作地の草刈 耕畜連携へ貢献！（延べ参加者 農業者56名）



- * 生態系保全・水質調査・生物調査
水田は多様性生物の宝庫 次世代へ繋ぐ資源保全を！
（参加者 農業者5名、非農業者3名、南大畑PTA { 親 16名 子 26名 }）



- * 景観形成（花壇造成、植栽作業）
造成と土壌改良、植栽作業でカントリーロードも色鮮やかな絨毯へ変身！
（参加者 農業者延べ21名、非農業者延べ44名、南大畑PTA { 親 16名 子 26名 }）



お知らせ

全国土地改良大会 宮城大会の 推進事務局が発足しました

平成23年度開催する『第34回全国土地改良大会 宮城大会』へ向けて、このたび永倉局長をはじめ3人（他兼務4名）の「全国土地改良大会推進事務局」が発足しました。

大会の成功を目指し全力で頑張ります。皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

開催月日 平成23年10月26日（水） **開催場所** 夢メッセみやぎ



左から及川次長、永倉局長、高橋主査

連絡先 全国土地改良大会推進事務局 TEL：022-263-5825 FAX：022-268-6390

SEKISUI

農家の方々に朗報！自分たちだけで出来る水路補修！

エスロンタイムズ on the Web
<http://www.eslontimes.com>

農家の皆様ご自身で水路の水漏れ、
ラクラク補修。
シートで水路機能が復活！

全面ライニング 開水路の機能を復元、劣化防止！

目地の補修 開水路の漏水目地を専用シートでカンタン補修！



積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー 管路更生事業部
東京都港区虎ノ門2丁目3番17号(虎ノ門2丁目タワー) 〒105-8450

開水路水利施設の
更生工法

PPSライニング工法

連合会日誌

	日時	主催者名	行事名	開催場所
12月	2日	本会大崎支部	第1回理事長研修会	大崎市
	3日	宮城県中山間地域活性化推進(協)	担当職員研修会	七ヶ宿町
	9日	本会	監事会・理事会・役員研修会	大崎市
	10~11日	東北・北海道土地連連絡(協)	NN整備技術強化対策事業団体営事業支援研修(調査計画研修)	秋田県
	11日	県農地集団化推進(協)	交換分合事業研修会	土地改良会館
	15日	本会 大河原支部	第2回21創造運動担当者会議	角田市
	17日	全土連・岩手県土地連	NN整備技術審査向上対策事業・臨場指導研修	岩手県
	17~18日	全土連	農集排事業担当者全国研修	東京都
1月	21日	東北・北海道土地連連絡(協)	土地改良区会計システム研修会	土地改良会館
	13日	全土連	農村振興総合整備推進事業意見交換会	東京都
	13日	本会	みやぎの農業用水を考えるシンポジウム2010	仙台市
	16日	宮城県農地・水・環境保全向上対策地域(協)	みやぎの農村環境保全シンポジウム	仙台市
	19日	宮城県農地集団化推進(協)	第2回幹事会	土地改良会館
	21日	全土連・本会	NN整備技術強化対策事業一般研修	土地改良会館
	21日	全土連	小水力発電事業中央研修会	東京都
	21日	本会	第1回役員会	土地改良会館
2月	22日	全土連	農業農村整備優良地区コンクール審査会	東京都
	28日	全土連	換地計画推進全国会議	東京都
	8日	全土連	水土里情報システム操作説明会議	東京都
	10日	鳴瀬中流統合推進(協)	合併予備調印式	美里町
	15日	宮城県中山間地域活性化推進(協)	みやぎの中山間地写真コンクール審査会	土地改良会館
	16日	東北・北海道土地連連絡(協)	第3回事務責任者会議及びNN整備事業推進意見交換会	仙台市
	19日	水土保全強化対策センター	宮城県管理指導事業推進委員会	土地改良会館
	19日	水土保全強化対策センター	宮城県換地等促進事業推進委員会	土地改良会館
3月	19日	東北農業農村整備推進(協)	第2回幹事会	仙台市
	22日	東北・北海道土地連連絡(協)	技術主任者会議	秋田県
	23日	本会	第4回理事会並びに本会第51回総会表彰選考委員会	土地改良会館
	24日	東北・北海道土地連連絡(協)	NN整備技術強化対策事業第2回東北・北海道ブロック会議	土地改良会館
	24~25日	本会	ISO・JQA定期審査	土地改良会館
	25~26日	全土連	「土地改良区による事前積立」に係る説明会及び土地改良区合併推進リーダー育成研修会	東京都
	26~27日	本会栗原支部	役職員研修会	大崎市 他
	3日	全土連・農村開発企画委員会	第2回地域力支援地方委員会(東北ブロック)	土地改良会館
3月	9日	全土連	理事会	東京都
	10日	本会大崎支部	第2回理事長研修会	大崎市
	11日	全土連	農村防災・災害対応指導体制強化事業第3回中央検討委員会	東京都
	17日	宮城県農地・水・環境保全向上対策地域(協)	第5回幹事会	土地改良会館
	17日	全土連	第2回土地改良区基盤強化推進委員会	東京都 砂防会館別館
	17日	東北農業農村整備推進(協)	農地集団化(協)優良地区及び永年勤続者表彰式	仙台市
	23日	全土連	土地改良施設維持管理適正化事業運営委員会	東京都
	25日	本会	第51回通常総会	土地改良会館
	26日	全土連	第52回通常総会及び土地改良功労者表彰式	東京都
29日	本会 登米・気仙沼支部	第2回農業農村整備事業施行連絡調整会議	登米市	

今後の行事予定

	日時	主催者名	行事名	開催場所
4月	23日	本会栗原支部	通常総会	栗原市
5月	13日	東北・北海道土地連絡(協)	通常総会	秋田県
6月	6月中旬	県中山間地域活性化推進(協)	通常総会	仙台市
	6月中旬	県中山間地域活性化推進(協)	通常総会	仙台市
	6月下旬	本会	第1回監事会・理事会	仙台市

人事異動

山元町(仙台支部管内)

大條 修也町長

山元町長職務代理者・山元町職員

庄 司 正 一(しょうじ しょういち) 就任【H22.3.10~H22.4.25】

登米市東和町土地改良区(登米・気仙沼支部管内)

丸山與志雄理事長

佐 藤 忠 良(さとう ただよし) 理事長就任【H22.3.11~】

伊豆沼土地改良区(登米・気仙沼支部管内)

高橋 義矩理事長

伊 藤 孝 一(いとう こういち) 理事長就任【H22.4.1~】

北上川沿岸土地改良区(石巻支部管内)

佐々木明朗理事長

高 橋 利 一 郎(たかはし りいちろう) 理事長就任【H22.4.1~】

広告募集中!

「土地改良広報」に掲載する広告を募集しています。

詳しいことは下記までお問い合わせ下さい。



水土里ネットみやぎ
総務企画部企画広報班
TEL 022-263-5812

「マルごと守る」自動車保険

Total assist

トータルアシスト by 東京海上日動!

東京海上日動火災保険株式会社 東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050

☎ 0120-691-300 午前9時~午後8時(平日、土日祝とも) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>





株式会社 ベルテック

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町三丁目1番地の12

Tel 022-231-1331 Fax 022-231-1332

※ 主な業務内容 ※

- ◇GIS支援業務：地理情報システム開発・システムサポート・解析処理◇
- ◇データベース構築業務：データエンタリー・CADデータ編集・データ変換◇
- ◇レコードマネージメント業務：資料調査・電子化・電子ファイリングシステム◇
- ◇サイン・広告・看板作製業務：ポスター・のぼり・旗・看板・立体展示物◇
- ◇測量調査業務：航空写真測量・地上測量・農地現況調査・各種調査図面作成◇
- ◇古物商：事務用品・事務機器・自動車◇



日本SPR工法協会 東北支部

〒981-0954 仙台市青葉区川平1丁目5-30
電話 022-279-5683 (ファクシミリ兼用)

日本SPR工法協会

TEL 03-3234-8495(代)
ホームページ <http://www.spr.gr.jp/>



●発行 2010年4月1日

水土里ネットみやぎ (宮城県土地改良事業団体連合会)
〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号
Tel 022-263-5811 (代表) / Fax 022-268-6390
<http://www.mlw.or.jp>

●印刷

株式会社 イシカワ印刷
〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代一丁目24-9
Tel 022-238-0999 / Fax 022-235-9035